

アジアと日本のかけはし作り ~学生団体AJASTの設立~

2012SA 吉川健太郎

私は昨年、アジアの優秀な学生と日本企業の出会いを提供する「かけはしプログラム」と、その運営団体「AJAST(Asia Japan Student)」を立ち上げ、現在はこれらの団体の代表として活動をしています。

アジアを始めとする世界各国では日本に対する憧れを持っている若者が数多く存在しており、情熱や能力を持ち合わせる彼らがいつの日か日本と関わりのある仕事に就いて世界と日本をつなぐ存在になることは、彼ら自身のみならず日本の国益にもなると考えています。

この企画は京大生チャレンジコンテストにも採択していただき、現在では京都大学、京都府等から後援をいただきながら、京都大学生を中心に50名弱のメンバーで活動を行なっています。

今年度は外務省より日本インドネシア国交60周年記念事業にも認定していただき、今年8月中旬に開催予定の「第3回かけはしプログラム」は過去最大規模になる予定です。

現在、これまでのプログラムで来日した現地の学生と日本人スタッフを中心に、新たなプロジェクトも企画しており、学生ならではのスピード感と行動力で今後も様々なことに挑戦していこうと考えています。

また私自身についてですが、今夏より3か月間、スイスWHO本部でのインターンシップに参加させていただくこととなりました。様々な国籍の人達が集まる職場で働ける経験は楽しみである一方、大変緊張もしています。

しかし、こうした緊張や不安を乗り越え様々なことに挑むことができるのも、また世界と日本のかけはしとなる人材を育むプログラムの創設に尽力できたのも、全ては高校生の時の学生親善使節としての経験があったからこそだと思っています。

この場をお借りして改めて御礼申し上げますとともに、今後も元SAとして恥じないよう頑張っていきたいと思えます。